

生産は2年連続で低下

府企画統計課産業統計係

はじめに

京都府では、府内の鉱工業の月々の生産活動の動向を明らかにすることを目的として「京都府鉱工業指数」を毎月作成し、公表しています。

この鉱工業指数は、景気の動きに敏感に反応するため、景気変動を読みとることができる指標として各方面で活用されています。

今回、令和7年1月分から12月分の実績値を最終確定値に置き換え、原指数の確定と季節指数の改定を行いました。（年間補正）

なお、各品目の系列資料は「経済産業省生産動態統計調査」及び「京都府鉱工業生産動態統計調査」等によっています。

（注 本文記載のデータ中、年平均は原指数、四半期は季節調整済指数の数値です。）

指標からみた鉱工業の動き

1 概 況

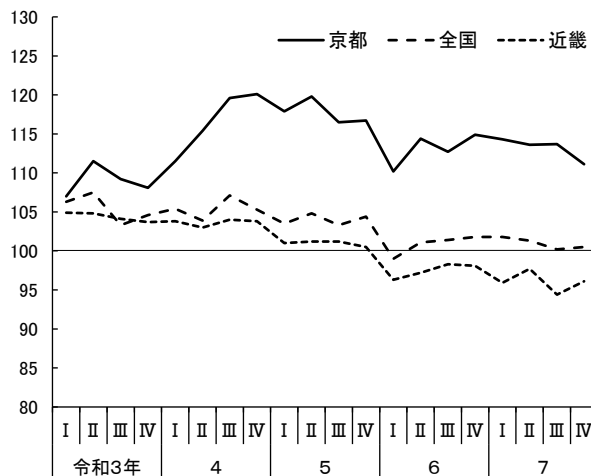
(1)生産指数

京都府鉱工業指数のうち生産指数は、基準年である令和2年には新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、4月に発出された緊急事態宣言で経済活動が制限され、輸送機械工業をはじめ企業の生産水準が急速に低下し、現行基準で比較可能な平成30年以降で最も低い水準となりました。

その後、リチウムイオン蓄電池等電気機械工業等がけん引し、全体を押し上げた結果、令和3年、4年と大きく上昇し、4年、5年は新型コロナウイルス感染拡大前の元年の水準を上回ったものの、6年は、輸送機械工業等が低下したため、4年ぶりに低下しました。

こうした中、令和7年の生産指数（令和2年=100）は、電気機械工業や業務用機械工業等が低下したため、前年比0.3%低下の113.2で、2年連続で低下し、新型コロナウイルス感染拡大前の元年の水準を下回りました。

図1 京都・全国・近畿の鉱工業生産指数の推移(R2=100 季節調整済)



注 I 期・・・1月～3月、II 期・・・4月～6月、III 期・・・7月～9月
IV 期・・・10月～12月（以下のグラフ同じ）

四半期別にみると、1～3月期は114.3で前期比0.5%、4～6月期は113.6で同0.6%と2期連続の低下となりましたが、7～9月期は113.7で同0.1%上昇、10～12月期は111.1で同2.3%低下となりました。

全国の令和7年の生産指数（年間補正後）は100.9で、前年比0.3%の低下となり、4年連続で低下しました。全国の動きを四半期別にみると、1～3月期は101.8で前期比0.0%横ばい、4～6月期は101.3で同0.5%、7～9月期は100.2で同1.1%と2期連続の低下となりましたが、10～12月期は100.5で同0.3%上昇となりました。

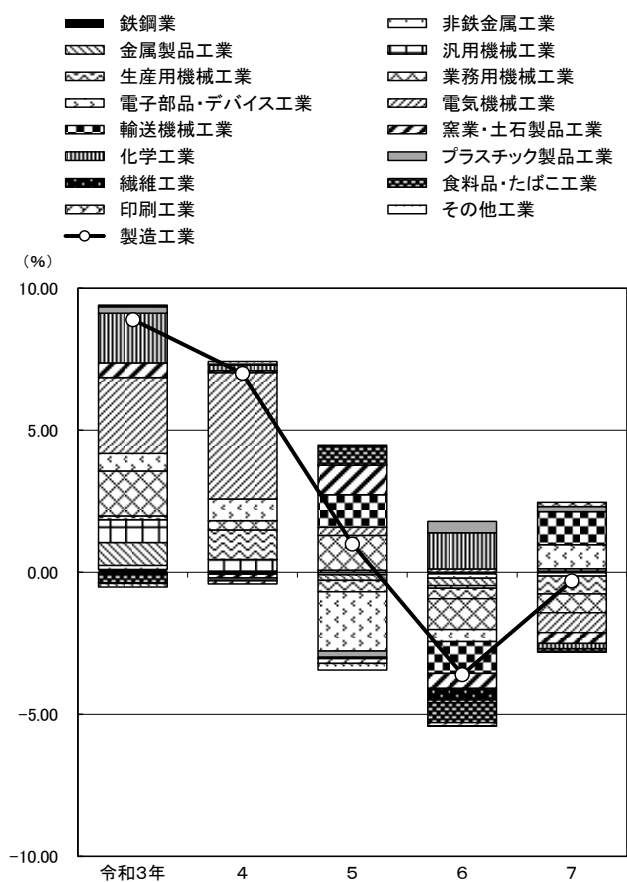
近畿の令和7年の生産指数（年間補正後）は96.1で、前年比1.6%の低下となり、4年連続で低下しました。近畿の動きを四半期別にみると、1～3月期は95.9で前期比2.2%低下、4～6月期は97.7で同1.9%上昇、7～9月期は94.4で同3.4%低下、10～12月期は96.1で同1.8%上昇となりました。

京都府の業種別の動きを前年比でみると、9業種で低下、7業種で上昇しました。

（図1、表1～3）

最も低下に寄与した業種は、電気機械工業で、6年ぶりの低下となりました。続いて業務用機械工業や生産用機械工業が低下に寄与しました。

図2 京都府鉱工業生産指数(原指数)
業種別寄与度の推移



最も上昇に寄与した業種は、輸送機械工業で、2年ぶりの上昇となりました。続いて電子部品・デバイス工業やプラスチック製品工業が上昇に寄与しました。(図2、表1、表2)

(2)出荷指数

令和7年の京都府の出荷指数(令和2年=100)は、前年比2.0%上昇の108.6となり、2年ぶりの上昇となりました。

四半期別にみると、1～3月期は105.6で前期比2.8%低下、4～6月期は109.5で同3.7%、7～9月期は110.9で同1.3%と2期連続の上昇となりましたが、10～12月期は109.1で同1.6%低下しました。

図3 京都府鉱工業指数の推移
(R2=100 季節調整済)

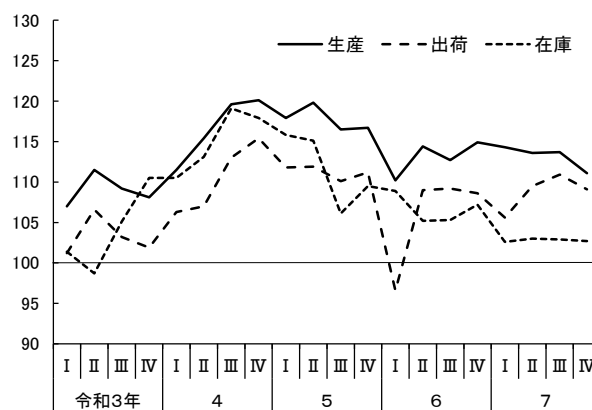


表1 京都府鉱工業指数(原指数)業種別寄与度

系列・年 項目		生産指数					出荷指数					在庫指数				
		令和3年	4	5	6	7	令和3年	4	5	6	7	令和3年	4	5	6	7
製造工業(対前年比%)		8.90	7.00	1.00	△ 3.60	△ 0.30	3.00	7.00	0.80	△ 4.10	2.00	17.10	7.00	△ 6.90	△ 2.30	△ 4.10
業 種 別	鉄 鋼 業	0.10	△ 0.03	△ 0.02	△ 0.06	△ 0.02	0.14	△ 0.07	△ 0.03	△ 0.10	△ 0.04	0.75	△ 0.04	△ 0.19	△ 0.05	△ 0.25
	非 鉄 金 属 工 業	0.14	0.04	△ 0.07	△ 0.15	△ 0.11	0.18	△ 0.01	△ 0.16	△ 0.12	△ 0.10	0.34	0.21	0.08	0.18	△ 0.23
	金 属 製 品 工 業	0.81	△ 0.04	△ 0.19	△ 0.26	0.04	0.62	△ 0.13	△ 0.10	△ 0.17	0.11	△ 0.32	1.33	0.36	△ 0.64	△ 0.19
	汎 用 機 械 工 業	0.80	0.41	0.08	△ 0.09	0.09	0.83	0.50	0.00	△ 0.06	0.04	x	x	x	x	x
	生産用機械工業	0.14	1.04	△ 0.41	△ 0.37	△ 0.63	△ 0.24	0.94	0.01	△ 0.43	△ 0.60	0.29	0.30	0.65	△ 1.29	1.77
	業務用機械工業	1.58	0.33	1.22	△ 1.09	△ 0.66	0.52	0.41	0.20	△ 0.47	△ 0.30	-	-	-	-	-
	電子部品・デバイス工業	0.62	0.76	△ 2.08	△ 0.42	0.84	0.56	0.99	△ 2.01	△ 0.22	0.91	2.57	△ 1.91	△ 3.02	1.37	0.21
	電 気 機 械 工 業	2.66	4.45	0.28	0.12	△ 0.71	1.58	2.56	△ 0.27	0.38	△ 0.47	x	x	x	x	x
	輸 送 機 械 工 業	△ 0.03	0.07	1.15	△ 1.12	1.17	△ 0.18	0.94	2.53	△ 2.38	2.15	x	x	x	x	x
	窯業・土石製品工業	0.52	△ 0.13	1.04	△ 0.53	△ 0.37	0.14	0.08	0.38	△ 0.25	△ 0.15	3.32	△ 0.35	1.34	△ 0.50	△ 2.55
	化 学 工 業	1.75	0.20	0.01	1.27	△ 0.19	0.79	0.23	△ 0.16	0.90	△ 0.08	1.98	△ 0.98	△ 0.70	0.62	△ 0.41
	プラスチック製品工業	0.23	△ 0.08	△ 0.22	0.40	0.17	0.28	△ 0.13	△ 0.23	0.52	0.15	△ 0.17	0.29	△ 0.12	△ 0.60	0.48
	織 維 工 業	0.06	△ 0.02	△ 0.05	△ 0.37	△ 0.01	0.04	0.00	△ 0.05	△ 0.29	△ 0.02	△ 0.96	0.22	0.39	△ 0.57	△ 0.39
	食料品・たばこ工業	△ 0.34	0.03	0.69	△ 0.83	△ 0.11	△ 2.10	0.82	0.94	△ 1.28	0.45	3.69	0.73	△ 1.59	1.92	△ 3.54
印 刷 工 業	△ 0.02	△ 0.11	△ 0.17	△ 0.12	0.15	△ 0.02	△ 0.09	△ 0.14	△ 0.09	0.11	-	-	-	-	-	
そ の 他 工 業	△ 0.13	0.09	△ 0.23	△ 0.00	0.00	△ 0.17	△ 0.03	△ 0.09	△ 0.05	△ 0.15	△ 1.33	1.85	△ 0.92	△ 0.20	2.03	

業種別の動きを前年比でみると、7業種で上昇、9業種で低下しました。

最も上昇に寄与した業種は、輸送機械工業で、2年ぶりの上昇となりました。続いて電子部品・デバイス工業や食料品・たばこ工業が上昇に寄与しました。

最も低下に寄与した業種は、生産用機械工業で、2年連続の低下となりました。続いて電気機械工業や業務用機械工業が低下に寄与しました。（図3、表1、表4）

(3)在庫指数

令和7年の京都府の在庫指数（令和2年=100）は、前年比4.1%低下の100.3となり、3年連続の低下となりました。

四半期別にみると、1～3月期は102.6で前期比4.3%低下、4～6月期は103.0で同0.4%上昇、7～9月期は102.9で同0.1%、10～12月期は102.7で同0.2%と2期連続の低下となりました。

業種別の動きを前年比でみると、9業種で低下、5業種で上昇しました。

最も低下に寄与した業種は、食料品・たばこ工業で、2年ぶりの低下となりました。続いて窯業・土石製品工業や化学工業が低下に寄与しました。（秘匿業種を除く）

最も上昇に寄与した業種は、その他工業で、3年ぶりの上昇となりました。続いて生産用機械工業やプラスチック製品工業が上昇に寄与しました。（秘匿業種を除く）

（図3、表1、表5）

2 業種別生産指数の動向

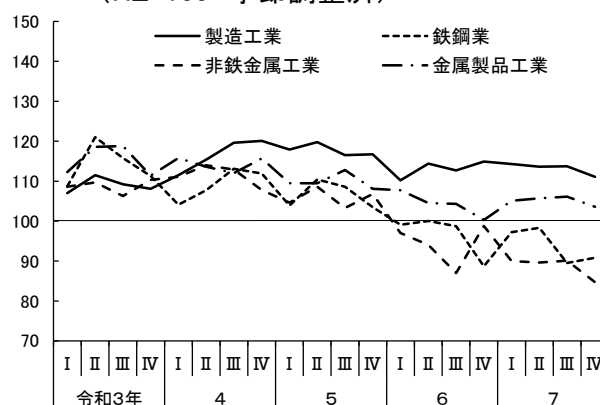
(1)金属工業

鉄鋼業は93.9で前年比2.8%低下となりました。フェロニッケル等が低下に寄与しました。

非鉄金属工業は88.5で同6.7%低下となりました。銅合金塊等が低下に寄与しました。

金属製品工業は105.1で同0.8%上昇となりました。ねじ・ボルト等が上昇に寄与しました。（図4、表2）

図4 京都府鉱工業生産指数 業種別の推移
(R2=100 季節調整済)



(2)機械工業

汎用機械工業は138.5で前年比1.8%上昇となりました。固定比減速機等が上昇に寄与しました。

生産用機械工業は96.4で同7.6%低下となりました。半導体製造装置等が低下に寄与しました。

業務用機械工業は116.1で同5.9%低下となりました。電磁気分析機器等が低下に寄与しました。

電子部品・デバイス工業は90.1で同15.4%上昇となりました。電子回路基板等が上昇に寄与しました。

電気機械工業は152.3で同3.2%低下となりました。リチウムイオン蓄電池等が低下に寄与しました。

輸送機械工業は122.4で同19.9%上昇となりました。乗用車等が上昇に寄与しました。

（図5、表2）

図5 京都府鉱工業生産指数 業種別の推移
(R2=100 季節調整済)

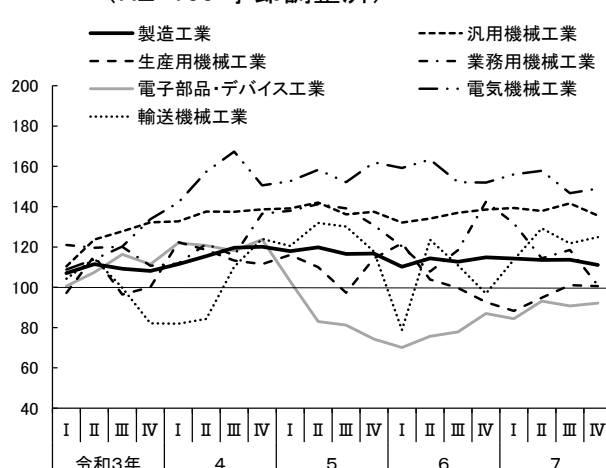


表2 京都府鉱工業生産指数(原指数)

区分	製造工業	業 種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウェイト	10000.0	69.1	164.2	538.8	341.5	797.4	908.6	696.2	1386.1
平成30年 平均	126.4	145.7	132.4	125.6	129.1	154.8	111.1	125.8	102.1
令和元年	114.1	127.2	124.8	129.2	118.1	117.1	111.2	109.7	98.8
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	108.9	114.1	108.6	115.1	123.4	101.8	117.4	109.0	119.2
4	116.5	109.4	111.0	114.3	136.2	116.0	121.3	120.9	154.0
5	117.7	106.5	105.6	110.0	139.0	109.8	137.4	85.1	156.4
6	113.5	96.6	94.9	104.3	136.0	104.3	123.4	78.1	157.4
7	113.2	93.9	88.5	105.1	138.5	96.4	116.1	90.1	152.3
令和6年 1月	99.8	86.2	97.8	105.2	127.0	108.7	131.0	59.8	143.8
2	111.9	94.8	100.3	109.4	134.4	131.6	125.0	69.7	165.9
3	120.0	101.8	95.3	111.4	139.2	151.7	136.5	74.7	182.5
4	114.3	96.4	94.0	96.6	138.8	108.3	104.0	71.1	158.1
5	106.2	97.3	94.2	101.1	126.6	97.3	99.6	69.3	143.3
6	112.2	94.4	88.0	105.8	129.8	88.9	98.2	73.5	163.6
7	120.1	119.0	91.1	115.6	144.2	90.9	101.5	79.6	167.0
8	97.8	96.0	69.6	86.6	119.9	104.5	98.2	69.5	129.1
9	114.5	85.1	92.6	108.4	139.3	99.0	122.7	89.4	159.5
10	123.1	96.8	110.2	104.0	148.4	92.1	135.0	90.7	164.6
11	121.5	105.3	104.8	109.5	143.5	88.5	159.7	93.6	157.9
12	120.5	85.8	100.3	98.5	141.2	90.0	169.3	96.2	153.0
7年 1月	103.9	77.8	92.7	102.9	140.1	78.5	133.0	77.5	142.8
2	113.4	102.8	86.6	103.1	132.8	101.5	139.6	84.0	157.4
3	119.4	96.3	82.3	110.6	140.7	108.1	157.4	82.1	171.7
4	110.5	89.0	93.3	100.6	137.7	77.8	106.4	87.9	152.6
5	104.9	98.3	85.7	96.3	130.1	97.4	95.0	91.0	138.4
6	115.8	100.9	82.7	111.3	137.0	92.9	106.2	84.0	165.7
7	122.9	85.9	98.8	116.4	152.9	91.5	107.3	96.8	166.4
8	97.2	87.3	75.1	87.4	123.5	98.8	101.0	86.2	117.9
9	117.6	99.7	88.0	114.4	147.3	112.6	117.2	94.8	150.4
10	126.6	91.5	103.1	113.6	143.4	125.3	112.2	100.1	165.0
11	111.5	111.2	91.4	105.6	133.6	75.6	95.5	92.9	155.8
12	114.1	85.6	82.5	99.4	142.5	96.6	122.3	104.0	143.5

表3 京都府鉱工業生産指数(季節調整済指数)

区分	製造工業	業 種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウェイト	10000.0	69.1	164.2	538.8	341.5	797.4	908.6	696.2	1386.1
令和3年 I 期	107.0	108.7	108.6	112.3	110.4	97.2	121.0	100.6	108.8
II	111.5	121.0	109.7	118.6	123.7	115.5	119.6	107.4	113.9
III	109.2	115.8	106.3	118.8	127.8	96.4	120.1	116.3	120.2
IV	108.1	111.3	110.3	111.4	132.2	100.1	110.7	111.4	133.8
4年 I 期	111.5	104.1	111.1	115.8	132.7	122.4	111.8	122.0	142.0
II	115.4	107.7	114.0	113.6	137.6	118.5	121.5	120.7	157.3
III	119.6	113.1	112.9	112.0	137.5	113.3	115.8	118.1	167.3
IV	120.1	111.9	107.8	115.7	138.7	111.5	136.5	123.7	150.6
5年 I 期	117.9	103.9	104.6	109.5	139.2	116.0	138.0	102.9	152.7
II	119.8	110.4	108.6	109.5	142.0	110.0	141.2	83.0	158.3
III	116.5	108.6	103.3	112.8	136.2	97.3	139.2	81.2	152.2
IV	116.7	103.5	106.8	108.1	137.5	114.4	130.7	74.3	162.0
6年 I 期	110.2	99.1	97.0	107.7	132.1	121.8	120.3	70.1	159.2
II	114.4	100.0	94.0	104.5	134.1	103.8	107.8	75.7	163.4
III	112.7	98.7	87.0	104.3	137.0	99.7	118.4	77.8	152.2
IV	114.9	88.7	98.8	100.3	138.6	92.6	142.4	87.0	152.0
7年 I 期	114.3	97.2	90.0	105.1	139.4	88.3	131.7	84.4	156.0
II	113.6	98.3	89.6	105.7	137.9	94.8	114.4	93.1	157.8
III	113.7	89.5	90.1	106.1	141.6	101.1	118.5	90.7	146.7
IV	111.1	90.8	84.7	103.6	135.6	100.6	101.0	92.1	149.0
7年 1月	114.0	93.2	96.1	105.6	146.8	86.5	132.7	85.6	155.7
2	115.6	106.0	91.6	103.3	138.9	88.7	132.5	87.1	158.4
3	113.3	92.3	82.4	106.5	132.5	89.7	130.0	80.5	154.0
4	111.0	90.6	92.2	104.5	135.9	83.4	116.0	90.8	153.8
5	114.7	100.2	93.1	104.1	139.9	103.1	113.0	99.0	157.4
6	115.2	104.0	83.4	108.5	137.9	98.0	114.1	89.4	162.1
7	116.2	81.7	94.8	107.2	142.9	99.2	117.3	92.4	155.5
8	110.5	90.9	88.8	103.9	139.7	96.0	126.0	91.1	137.9
9	114.3	95.8	86.7	107.1	142.3	108.1	112.1	88.5	146.7
10	117.2	88.1	89.9	105.5	136.3	127.3	108.3	91.6	155.0
11	108.5	95.9	85.8	101.9	136.3	80.3	96.5	90.5	150.1
12	107.5	88.3	78.5	103.5	134.3	94.2	98.1	94.2	141.9

注 四半期は期間内3ヶ月の平均値

令和2年=100

分類								区分
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	
577.0	776.7	568.5	385.1	200.7	1613.6	530.6	445.9	ウエイト
208.1	128.9	132.0	112.6	117.8	120.5	117.6	106.0	平成30年 平均
164.0	120.9	100.7	106.8	113.7	111.6	106.8	106.4	令和元年
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2
99.5	106.6	130.9	105.9	102.9	97.9	99.6	97.1	3
100.8	104.8	134.8	103.7	101.8	98.1	97.3	99.3	4
124.7	120.9	135.0	96.9	98.6	103.2	93.4	93.2	5
102.1	112.9	161.0	109.1	76.8	97.2	90.9	93.1	6
122.4	108.1	157.7	113.4	76.4	96.5	93.7	93.2	7
63.3	96.4	122.1	98.5	69.4	71.0	84.1	84.5	令和6年 1月
80.6	104.1	148.4	87.0	71.0	91.3	86.9	92.5	2
85.1	97.1	161.8	81.4	77.2	103.5	89.9	92.5	3
84.0	125.7	162.5	120.2	81.6	109.7	95.7	96.2	4
111.0	112.6	141.7	114.2	76.0	91.2	86.8	94.6	5
116.2	117.2	164.1	110.9	80.5	100.9	89.6	90.9	6
133.7	129.8	179.4	130.9	78.9	108.5	96.6	95.8	7
85.2	88.9	146.6	103.1	70.1	85.1	79.9	84.2	8
126.9	114.6	160.0	103.8	75.9	91.7	91.4	89.3	9
138.8	119.9	192.0	126.8	84.1	102.5	102.9	98.5	10
96.7	126.4	169.5	118.0	79.8	108.2	96.7	100.6	11
104.2	121.7	184.3	114.9	77.6	103.2	90.3	97.4	12
119.7	88.0	133.2	115.9	71.2	77.6	86.0	83.5	7年 1月
113.8	104.3	144.3	112.6	77.9	93.8	89.0	91.5	2
88.4	111.6	156.1	112.1	78.2	101.0	96.5	94.4	3
102.7	108.0	170.0	111.5	86.2	94.7	103.6	97.4	4
114.2	105.8	149.6	109.6	79.1	82.3	89.0	92.9	5
128.5	113.6	184.3	116.4	79.3	94.4	91.3	96.1	6
143.7	116.5	203.2	122.2	72.6	108.4	97.5	102.5	7
98.8	85.3	139.6	101.7	62.5	86.4	77.8	78.9	8
138.5	119.6	145.9	114.5	77.5	102.4	97.0	89.7	9
152.8	120.2	180.4	131.7	84.8	109.9	109.3	101.2	10
130.6	113.8	144.5	105.0	76.2	103.8	94.2	97.2	11
136.9	110.8	141.7	107.7	71.4	103.6	92.7	93.2	12

令和2年=100

分類								区分
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	
577.0	776.7	568.5	385.1	200.7	1613.6	530.6	445.9	ウエイト
104.2	114.8	130.4	105.6	100.1	99.3	101.5	97.2	令和3年 I 期
114.3	119.2	132.6	110.3	103.1	96.4	101.2	97.5	II
99.8	95.1	138.8	107.1	105.2	96.7	96.6	97.0	III
82.1	98.9	122.4	100.8	103.3	98.6	99.5	96.8	IV
81.9	98.7	126.1	106.7	101.1	94.1	99.1	97.7	4年 I 期
84.3	96.5	131.6	102.0	102.7	96.9	98.7	99.8	II
110.2	107.8	145.2	104.5	102.3	100.0	94.8	100.2	III
124.0	114.7	136.6	102.2	101.6	101.6	97.6	100.1	IV
120.5	112.8	130.7	95.1	99.8	103.8	96.3	96.1	5年 I 期
131.9	127.9	138.0	102.0	100.4	106.9	93.2	93.7	II
130.1	119.4	130.6	93.4	97.4	104.4	91.6	91.9	III
117.7	123.0	139.2	97.3	96.6	99.2	92.9	91.4	IV
78.8	101.1	146.6	92.2	76.6	94.2	86.9	93.8	6年 I 期
123.6	125.0	152.3	111.1	78.7	100.9	92.7	92.4	II
110.9	113.0	163.3	115.3	76.2	95.2	91.6	91.9	III
96.9	111.3	178.0	114.2	75.5	95.6	91.1	93.2	IV
113.7	106.3	154.9	119.4	79.7	99.4	92.9	94.5	7年 I 期
129.2	112.4	162.9	110.2	79.6	92.0	95.2	94.0	II
121.8	109.0	161.5	114.9	72.5	98.5	92.7	92.5	III
124.9	104.9	149.9	109.2	73.7	96.5	93.7	91.7	IV
131.6	98.9	148.6	114.2	79.6	96.8	92.3	93.2	7年 1月
117.9	107.8	157.6	121.2	80.5	104.0	94.5	96.2	2
91.7	112.1	158.6	122.9	79.1	97.4	91.8	94.2	3
116.7	110.7	162.4	109.1	81.7	94.1	98.8	93.4	4
143.3	115.4	159.3	108.0	79.9	89.4	95.9	95.0	5
127.6	111.1	167.1	113.6	77.3	92.4	91.0	93.7	6
124.0	106.3	179.7	115.6	73.5	97.9	92.7	98.0	7
123.6	107.3	152.0	111.9	68.5	97.5	92.8	87.5	8
117.7	113.3	152.8	117.2	75.4	100.2	92.7	92.0	9
123.3	107.3	162.6	115.9	77.8	100.4	97.4	94.3	10
122.0	103.5	144.5	105.0	72.5	95.9	92.3	92.3	11
129.5	103.9	142.6	106.6	70.9	93.2	91.4	88.6	12

表4 京都府鋳工業出荷指数(季節調整済指数)

区分	製造工業	業 種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	118.8	234.9	524.7	350.0	705.2	633.5	507.2	1058.9
平成30年 平均	127.4	164.9	129.9	124.0	125.7	152.0	107.8	130.0	107.2
令和元年	115.0	129.2	122.1	123.2	114.0	121.8	111.6	113.0	101.4
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	103.0	111.7	107.7	111.9	123.7	96.6	108.2	111.1	114.9
4	110.2	105.8	107.2	109.4	138.4	110.3	114.8	131.1	139.8
5	111.1	103.0	99.7	107.3	138.4	110.4	118.3	86.5	136.9
6	106.5	93.3	94.0	103.6	136.5	103.6	110.0	81.6	140.9
7	108.6	89.4	89.7	105.8	137.6	94.6	105.0	100.5	136.2
令和3年 I 期	101.2	110.4	105.2	111.1	110.2	91.5	107.8	102.7	102.2
II	106.6	117.1	109.0	117.3	122.7	107.4	111.7	108.6	113.9
III	103.2	112.5	108.7	112.1	129.6	90.5	101.6	117.6	119.3
IV	101.9	107.6	108.4	108.0	132.7	98.3	112.9	115.3	126.6
4年 I 期	106.3	97.5	108.5	110.0	132.3	108.6	106.1	128.5	134.3
II	107.0	107.2	109.3	109.0	138.5	109.1	121.7	131.4	134.3
III	113.0	110.3	108.5	109.4	137.7	111.9	110.7	130.6	151.5
IV	115.4	109.8	103.9	109.8	146.1	111.8	120.5	135.0	141.6
5年 I 期	111.8	102.8	100.1	105.3	142.1	121.1	118.9	114.4	131.6
II	111.9	107.8	101.5	107.6	143.4	104.2	126.6	85.6	141.1
III	110.1	102.6	99.6	110.1	133.5	99.3	112.7	74.3	134.4
IV	111.2	99.9	97.9	106.4	134.2	114.2	118.7	72.7	139.5
6年 I 期	96.6	93.3	97.8	103.5	131.5	120.5	110.4	73.2	132.9
II	109.0	102.1	94.3	106.2	135.0	103.2	107.4	81.5	143.9
III	109.2	90.8	90.0	104.5	139.4	97.9	109.5	80.8	143.6
IV	108.6	84.6	91.7	99.5	138.4	94.7	111.7	89.8	141.6
7年 I 期	105.6	96.2	88.1	107.0	138.0	87.7	108.8	92.6	136.1
II	109.5	89.5	91.2	104.9	136.5	93.6	102.3	100.7	140.8
III	110.9	84.7	90.5	106.1	139.7	98.5	105.4	102.9	136.1
IV	109.1	88.4	89.5	105.3	136.5	97.6	103.6	105.6	133.2
7年 1月	108.2	92.9	89.9	106.6	144.5	87.6	112.0	91.1	140.1
2	107.7	94.5	87.6	107.6	136.6	88.0	106.2	95.2	139.4
3	100.9	101.1	86.9	106.9	132.9	87.6	108.3	91.6	128.8
4	106.3	88.7	90.0	101.0	134.0	81.8	101.3	98.4	139.6
5	111.0	89.4	90.7	105.8	138.5	103.5	103.6	103.4	139.9
6	111.2	90.5	93.0	108.0	137.0	95.4	101.9	100.3	143.0
7	111.9	80.8	90.8	107.6	144.2	99.5	98.3	103.0	137.7
8	109.7	88.6	89.7	104.8	136.3	91.4	110.5	102.5	136.5
9	111.2	84.8	90.9	106.0	138.5	104.5	107.3	103.2	134.2
10	112.3	87.4	92.7	106.2	135.9	111.7	104.3	107.2	134.4
11	109.4	85.9	90.0	104.5	137.2	99.3	104.5	100.1	140.9
12	105.6	92.0	85.8	105.3	136.5	81.9	102.0	109.6	124.2

注 年平均は原指数、四半期は期間内3ヶ月の平均値

表5 京都府鋳工業在庫指数(季節調整済指数)

区分	製造工業	業 種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	122.5	645.0	818.2	593.5	96.9	-	1210.2	454.3
平成30年 末	92.6	112.4	111.2	107.1	x	55.8	-	72.4	x
令和元年	101.4	62.1	114.6	102.8	x	124.6	-	87.2	x
2	91.8	101.6	95.7	94.1	x	93.3	-	89.8	x
3	107.5	157.9	100.5	90.5	x	120.4	-	109.2	x
4	115.0	154.1	104.0	107.9	x	153.6	-	92.3	x
5	107.1	136.8	105.3	112.9	x	230.5	-	63.8	x
6	104.6	132.7	108.4	104.4	x	86.2	-	76.1	x
7	100.3	111.6	104.7	102.0	x	277.7	-	77.9	x
令和3年 I 期	101.4	99.0	99.3	91.5	x	125.7	-	97.0	x
II	98.7	113.2	100.8	87.4	x	40.4	-	101.9	x
III	105.1	152.1	99.5	95.0	x	174.6	-	106.2	x
IV	110.5	167.6	99.7	88.9	x	100.9	-	122.1	x
4年 I 期	110.5	177.7	100.6	92.9	x	45.7	-	131.7	x
II	113.1	142.3	101.2	97.5	x	107.8	-	129.0	x
III	119.1	147.8	103.2	98.8	x	153.0	-	124.4	x
IV	117.9	159.5	103.4	105.9	x	124.8	-	103.9	x
5年 I 期	115.8	156.8	106.2	109.9	x	153.0	-	80.5	x
II	115.1	157.8	107.5	111.0	x	250.4	-	75.0	x
III	106.1	146.2	105.9	111.5	x	102.3	-	75.0	x
IV	109.5	137.2	105.6	111.4	x	184.0	-	70.4	x
6年 I 期	108.9	134.8	102.7	116.7	x	161.2	-	73.0	x
II	105.2	101.3	103.8	106.3	x	122.2	-	69.8	x
III	105.3	139.5	102.7	100.8	x	217.1	-	75.7	x
IV	107.2	131.1	107.9	103.3	x	70.5	-	83.8	x
7年 I 期	102.6	101.6	107.0	101.1	x	125.8	-	81.9	x
II	103.0	130.2	106.4	107.2	x	74.1	-	78.8	x
III	102.9	118.3	107.6	105.7	x	87.4	-	74.6	x
IV	102.7	105.8	104.2	101.8	x	218.4	-	83.6	x
7年 1月	102.3	104.5	104.5	101.6	x	80.6	-	80.8	x
2	102.2	119.0	107.3	98.1	x	127.0	-	78.0	x
3	102.6	101.6	107.0	101.1	x	125.8	-	81.9	x
4	105.9	83.6	107.2	104.0	x	86.4	-	79.2	x
5	103.6	109.2	107.9	107.0	x	70.3	-	78.0	x
6	103.0	130.2	106.4	107.2	x	74.1	-	78.8	x
7	101.8	97.7	107.2	107.1	x	49.1	-	78.7	x
8	99.9	103.6	107.0	105.4	x	67.5	-	76.2	x
9	102.9	118.3	107.6	105.7	x	87.4	-	74.6	x
10	104.5	99.4	106.9	104.5	x	297.2	-	76.6	x
11	100.9	140.6	105.3	102.7	x	46.1	-	81.7	x
12	102.7	105.8	104.2	101.8	x	218.4	-	83.6	x

注 年末値は原指数、四半期は期間内3ヶ月の期末値

分類								区分
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	
901.4	467.0	557.7	459.5	139.5	2468.3	418.4	455.0	ウエイト
198.1	127.2	119.1	112.4	121.5	117.5	117.6	104.4	平成30年 平均
156.6	119.2	116.2	107.4	115.1	105.5	106.8	104.7	令和元年
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2
98.0	103.1	114.2	106.1	103.1	91.5	99.6	96.2	3
108.7	104.8	118.5	103.2	103.0	94.9	97.3	95.6	4
140.3	114.0	115.2	97.6	99.1	99.2	93.4	93.3	5
110.7	107.9	133.3	110.4	76.0	93.4	90.9	92.2	6
135.7	104.6	131.7	113.8	74.8	95.3	93.7	88.8	7
102.8	107.4	115.1	106.7	101.3	92.0	101.8	92.7	令和3年 I 期
111.9	110.1	116.6	110.7	104.1	94.5	100.4	100.2	II
98.2	91.9	117.8	106.8	104.6	91.9	96.8	93.0	III
81.2	101.7	107.6	101.1	102.8	89.0	99.8	98.5	IV
82.6	98.0	113.0	106.1	101.6	96.3	99.3	95.0	4年 I 期
87.7	103.8	114.8	101.3	103.3	92.3	97.9	95.1	II
118.1	105.4	125.3	103.8	104.1	94.5	95.0	94.7	III
141.3	113.1	121.2	102.6	103.3	97.3	97.9	97.9	IV
137.5	110.5	110.6	95.3	99.6	97.7	96.5	93.1	5年 I 期
146.9	113.2	118.3	102.9	100.9	97.4	92.8	93.6	II
147.5	115.2	112.4	94.9	98.8	100.3	91.7	94.3	III
130.6	115.8	118.9	97.6	96.8	104.6	93.1	91.4	IV
73.3	105.8	121.3	91.5	74.6	76.4	87.0	94.0	6年 I 期
132.1	115.5	126.5	111.4	77.4	94.6	91.9	88.9	II
130.1	108.1	136.8	116.2	76.1	94.4	92.1	92.2	III
110.9	103.3	145.9	118.7	75.6	100.0	91.3	92.7	IV
115.6	104.2	130.8	118.5	76.5	92.3	92.6	92.1	7年 I 期
146.4	104.6	136.5	111.7	77.5	94.3	95.0	87.8	II
139.0	104.2	134.2	115.2	72.1	99.0	93.0	88.1	III
143.7	105.9	124.3	110.0	73.2	96.8	93.9	87.7	IV
134.9	107.7	126.0	114.7	76.6	90.2	91.8	93.0	7年 1月
121.5	103.9	132.9	121.4	77.4	95.4	94.1	92.4	2
90.4	100.9	133.5	119.4	75.4	91.4	91.9	90.8	3
126.1	97.9	135.8	114.0	79.0	93.7	97.9	91.4	4
169.7	112.9	132.9	105.5	77.8	93.1	96.0	88.6	5
143.3	102.9	140.9	115.7	75.6	96.0	91.0	83.4	6
141.7	101.7	150.9	116.1	73.3	99.4	92.9	89.8	7
142.0	106.9	124.3	115.6	68.7	97.6	93.1	86.5	8
133.2	104.1	127.5	113.8	74.4	100.1	93.1	88.1	9
140.0	106.5	131.9	116.6	77.1	102.8	97.8	88.2	10
141.4	103.8	123.6	107.4	73.2	95.7	92.6	88.3	11
149.6	107.5	117.4	106.0	69.3	91.9	91.3	86.5	12

分類								区分
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	
89.0	2104.1	1169.9	260.6	774.4	874.3	-	787.1	ウエイト
x	97.9	96.2	122.0	89.9	89.2	-	96.1	平成30年 末
x	108.2	104.9	87.3	95.9	99.1	-	94.1	令和元年
x	92.7	90.1	110.0	96.2	78.2	-	86.7	2
x	107.2	105.7	103.9	84.9	116.9	-	71.2	3
x	105.4	96.7	115.7	87.9	125.8	-	96.4	4
x	112.7	89.8	110.6	93.6	105.0	-	83.1	5
x	110.1	95.6	85.7	85.6	128.9	-	80.3	6
x	97.4	91.9	105.1	80.3	86.4	-	107.4	7
x	98.0	88.7	104.0	96.9	144.7	-	94.5	令和3年 I 期
x	101.7	88.3	99.0	91.4	97.4	-	78.7	II
x	108.9	94.8	114.2	88.3	106.3	-	79.2	III
x	107.2	104.8	99.9	85.7	141.7	-	75.2	IV
x	113.3	102.5	98.3	84.7	106.0	-	77.2	4年 I 期
x	96.7	99.7	105.6	83.3	120.3	-	83.0	II
x	104.9	98.6	106.3	85.8	135.4	-	94.0	III
x	105.4	95.3	111.8	88.6	149.4	-	101.8	IV
x	106.8	95.3	125.6	92.2	142.2	-	112.2	5年 I 期
x	111.5	95.3	116.7	94.6	130.9	-	100.5	II
x	105.4	88.7	107.5	94.0	110.0	-	91.4	III
x	112.8	88.8	110.0	94.9	118.8	-	88.9	IV
x	106.3	89.8	118.9	91.9	137.6	-	93.2	6年 I 期
x	105.3	91.0	112.9	89.3	103.4	-	92.1	II
x	106.0	89.5	120.9	88.3	138.8	-	83.5	III
x	110.4	95.0	86.7	86.7	146.4	-	86.1	IV
x	101.4	91.4	123.5	84.3	102.7	-	96.2	7年 I 期
x	101.1	90.4	101.0	81.6	110.1	-	106.1	II
x	99.5	91.0	108.0	78.1	137.5	-	110.3	III
x	96.1	90.6	107.5	80.7	97.4	-	117.0	IV
x	99.4	92.7	94.9	83.7	135.9	-	87.7	7年 1月
x	95.7	92.7	103.3	84.1	120.5	-	90.8	2
x	101.4	91.4	123.5	84.3	102.7	-	96.2	3
x	100.8	91.8	104.3	84.8	148.5	-	97.2	4
x	100.5	90.8	114.9	83.4	124.0	-	99.8	5
x	101.1	90.4	101.0	81.6	110.1	-	106.1	6
x	99.3	90.1	99.1	81.0	110.9	-	114.7	7
x	98.7	89.9	85.5	80.0	110.6	-	108.4	8
x	99.5	91.0	108.0	78.1	137.5	-	110.3	9
x	98.5	91.0	110.3	79.4	123.5	-	114.5	10
x	96.6	88.7	105.6	80.6	103.0	-	116.2	11
x	96.1	90.6	107.5	80.7	97.4	-	117.0	12

(3)繊維工業

繊維工業は76.4で、前年比0.5%低下となりました。絹・絹紡織物等が低下に寄与しました。

(図6、表2)

(4)その他の業種

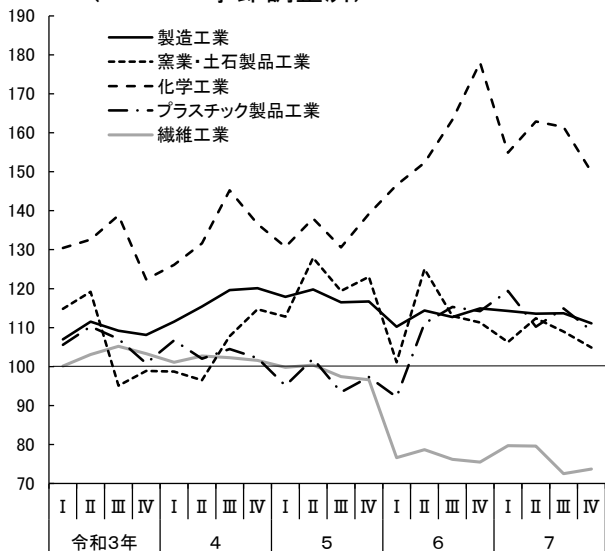
窯業・土石製品工業は108.1で前年比4.3%低下となりました。炭素製電極等が低下に寄与しました。

化学工業は157.7で同2.0%低下となりました。ポリアミド系樹脂成形材料等が低下に寄与しました。

プラスチック製品工業は113.4で同3.9%上昇となりました。プラスチック製機械器具部品等が上昇に寄与しました。

(図6、表2)

図6 京都府鉱工業生産指数 業種別の推移
(R2=100 季節調整済)



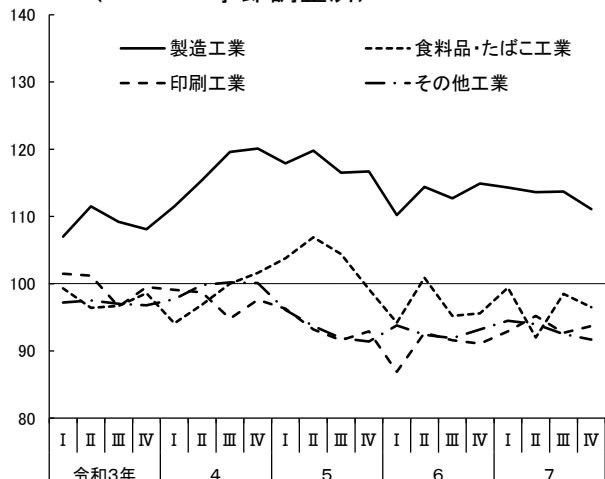
食料品・たばこ工業は96.5で前年比0.7%低下となりました。新ジャンルビール等が低下に寄与しました。

印刷工業は93.7で同3.1%上昇となりました。

その他工業は93.2で同0.1%上昇となりました。大人用紙おむつ等が上昇に寄与しました。

(図7、表2)

図7 京都府鉱工業生産指数 業種別の推移
(R2=100 季節調整済)



○寄与率と寄与度について

総合指数の上昇（低下）に対して、その内訳である業種別の影響の度合いがどれだけであったかについて、その構成比を計算したものを寄与率といい、さらに、総合指数の上昇（低下）率を寄与率により配分したものを寄与度といいます。寄与度、寄与率は次のように定義されます。

寄与率

$$= \frac{\text{各業種指数のポイント差} \times \text{各業種のウェイト}}{\text{総合指数のポイント差} \times \text{総合のウェイト}} \times 100$$

寄与度

$$= \text{総合指数の対前年上昇(低下)率} \times \text{各業種の寄与率} \div 100$$

○季節調整法について

鉱工業指数の季節調整法には米国センサス局のX-12-ARIMAを用いています。具体的な季節調整済指数の算出方法は次のとおりです。

季節調整済指数＝原指数÷(季節・曜日・祝祭日・うるう年指数)

季節調整法スペックファイル(Spec File)

```
series{ start = 2014.1
        span = (2014.1, 2025.12)
        decimals=1 }
transform{ function = log }
arima{ model = (010)(011) }
regression{variables = (td1nolpyear lpyear)
            save = (td hol)
            user = (jap-hol)
            usertype = holiday
            start = 2014.1
            file = "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx" }
forecast{ maxlead = 12 }
estimate{ save = (mdl)
          maxiter = 500 }
X11{ print = (none + d10 +d11 +d16)
     save = (d10 d11 d16 )
     seasonalma=x11default }
```

(注 在庫の場合はregressionの{ }内を削除)

令和7年年間補正において、異常値処理を行った種別、年月は以下のとおり。

鉱工業指数系列	異常値種別	処理年月
生産	AO(additive outlier)	2022.4
出荷	TC(temporary change)	2024.1
在庫	AO(additive outlier)	2014.9

○基準改定について

鉱工業指数は、採用品目やウェイト構成を基準時で固定しているため、基準時から遠ざかるにつれて、産業構造の変化や生産品目の種類及び価格の変動等により、実態を反映しにくくなる傾向があります。このため従来から5年ごとに基準時を更新しています。現行は令和2年基準で、令和6年1月分（速報）（令和6年3月公表分）から更新しています。